令和２年度第９回士別市教育委員会会議録

１．日　時　　令和２年９月１４日（月）午後３時５３分～午後５時１５分

２．会　場　　教育委員会　会議室

３．出席者

教育長	中　峰　寿　彰	生涯学習部長	鴻　野　弘　志
職務代理者	五十嵐　紀　子	学校教育課長	須　藤　友　章
委　員	馬　場　千　晶	社会教育課長	武　山　鉄　也
委　員	加　藤　洋　之	士別東高校事務長	河　口　光　輝
委　員	山　田　敦　久		

４．議　件（発言者、議事要旨及び議決事項）

〇中峰教育長あいさつ

二学期に入り、延期されていた行事が実施され、学校現場は児童・生徒も先生もとても忙しい状況であるが、学校行事を通しての学びも多く、大切なものである。９月１日に温根別小を皮切りに開催された運動会・体育祭も昨日をもって全校で終了した。種目に関しても工夫をこらし、画一的ではなく様々な対策がとられていた。１２日には朝日中学校の学校祭が開催されたが、こちらも対策を講じたうえで生徒の３年間の成長が感じられる内容であった。上士別中学校と南小学校では修学旅行を実施したところであり、この後、各校も何とか実施できればよいと思っている。しかし、万が一中止せざるを得ない状況になり、キャンセル料が発生する場合には、コロナ対策の交付金事業として支出することを検討している。

高平慎士氏によるスポーツ能力向上事業や、ダイハツ工業によるものづくり体験教室が中止となったが、同じダイハツ工業陸上部による「陸上教室」は、士別小学校３年生を対象に実施した。また、今週は小学４年生の児童と東高校２年生の生徒がトヨタ自動車の試験場見学を行う予定である。

文化関係では中央地区の文化祭を中止することになったが、朝日地区では感染予防対策を講じて開催する。各地区で違いが出ることになるが、各実行委員会で協議した結果として尊重したい。政府が新しい生活様式として示していることについて、できることから取り組んでいきたい。

合宿について、ダイハツ陸上部の受入れからスタートしたが、実業団連合の合宿は人数を絞って実施することになった。ハーフマラソン大会中止の影響から入込み数は減少している。日本陸連からは、感染予防対策を講じてホクレンディスタンスチャレンジを開催したことについて評価いただいた。今後もフィジカルディスタンスを確保するなど不安解消に努めていく。

本日もよろしくお願いする。

１　議事について

〇中峰教育長　進行

議案第１８号　令和２年度士別市文化賞の選定について説明を求める。

〇武山課長

士別市文化賞については、８月５日に開催した第７回教育委員会会議において審議会に諮問することを決定し、２８日に審議会を開催した。９名の委員の出席のもと、満場一致で文化賞を贈ることが適当との答申をいただいた。本会議で決定された場合、選定を市に報告することになる。

○中峰教育長

諮問のとおり決定してよろしいでしょうか。

（全員了承）

○中峰教育長

次に、議案第１９号　士別市学校運営協議会の設置について、及び議案第２０号　士別市学校運営協議会委員の選任について一括して説明を求める。

○河口東高等学校事務長

士別東高等学校の学校運営や行事の開催について、日頃から地域のみなさんにご支援いただいているところであるが、学校と保護者、地域住民等との更なる信頼関係の構築や、生徒の健全育成などに取り組むため、本年１０月１日付けで学校運営協議会を設置することとしたい。委員については、別紙にあるとおり保護者や地域の方を中心に選任しているが、本校のこれまでの経過も踏まえ、名寄市立大学の安永教授にも委員をお願いしている。

○中峰教育長

東高校におけるコミュニティ・スクールの導入については、教育行政執行方針でも示しており、この２年間で全ての小中学校に設置したところであるなか、これで全ての市立学校において設定することになる。全国・全道的に高校での設置も望まれているが、道立高校で学校運営協議会を設置している学校は１０数校である。一方、剣淵高校など市町村立の高校では地域とのつながりが強く、フレキシブルに活動している。小中学校の学校運営協議会とは違う動き方になると思うが、これまでの学校評議員を移行していくとの考え方のもと学校運営協議会を設置していく。、一方で、これまで同様、きたごりんファームや加工センター、宝来太鼓などの教育活動も実践する。

この件についてよろしいでしょうか。

（全員了承）

○中峰教育長

引続き、一人ひとりを大切にする学びを指導していく学校を支える体制を進めていきたい。

○中峰教育長

次に、議案第２１号　令和２年度士別市教育委員会補正予算について説明を求める。

○須藤課長

公立学校情報機器整備費補助金を活用し、遠隔学習に使用するカメラ等の設備を購入するものである。第２回定例会でも各校１台ずつカメラを購入する経費を補正したが、この時は締切が迫っていたため、取り急ぎ申請せざるを得なかった。今回、追加募集があったため、各校に必要な物品を確認し申請する。なお、経費の２分の１は国の補助金であり、残りは新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充てるものである。

○五十嵐職務代理者

ＷＥＢカメラなどは２種類あり、単価が違っている。どういう違いがあるのか。

○須藤課長

１校あたり３万５千円が上限とされているので、６月に補正したカメラの分を含め各学校で検討してもらった。学校によって希望した機種が違った。

○中峰教育長

購入する機材は全校で揃えた方がよい場合もある。学校再開事業でもアルコールディスペンサーなどの要望があり、メーカーや方式などまちまちだったが、揃えたケースもある。

上川教育局の指導監からは、オンライン授業を行うにあたり、ＷＥＢカメラ・ＵＳＢスピーカー・へ

ッドセットの３点が大事であるとの助言もあった。
※　議案第２１号了承
○中峰教育長
次に、議案第２２号　士別市立中学校部活動指導員設置要綱の一部を改正する要綱について説明を求める。
○須藤課長
部活動指導員に対し予算の範囲内で謝礼を支給することとしているが、指導員から謝礼を辞退する旨の申し出があった場合は謝礼を支給しないことができるよう要綱を改正するもの。
○中峰教育長
市職員や教員など公務員が指導員になった時は、謝礼を辞退することが適切な場合もある。そのような時に辞退できる制度にしておくもの。指導員ではなく外部指導者という制度も残っているが、こちらは無報酬である。指導員の制度については取り扱いを整理していく必要がある。
部活動の拠点校制度は、地域の中で先を見据えて経過的措置を講じたもの。この制度について、明日、岐阜大学の柴崎准教授が本市に取材のため訪れる。日本部活動学会の事務局を務められており、中体連制度の改善も含めた検討がなされることを期待している。
※　議案第２２号了承

２　その他について
士別市民生委員推薦会委員の推薦について
○須藤課長
市健康福祉部福祉課から委員の推薦依頼があった。本年８月末までは五十嵐職務代理者に務めていただいたが任期満了となったもの。新たな任期は９月１日から令和５年８月３１日までとなる。
○中峰教育長
引き続き五十嵐職務代理者にお願いしたい。
（全員了承）
第３回定例会における一般質問
○鴻野部長
教育委員会に関係する質問が４人の議員から通告されている。佐藤議員からは少人数学級について、苫口議員からは学校施設における諸事について、国忠議員からはスポーツ施設におけるインターネット光回線とマスクの着用について、渡辺議員からは令和５年度全国高校総体のウエイトリフティング競技の開催について質問があった。
○中峰教育長
苫口議員からは光触媒の活用について問われている。わからないことが多く、現段階で導入する考えには至らないところ。
○加藤委員
インフルエンザなどには有効とのデータが示されている。新型コロナウイルスは別として、それなりの効果はあると思うが、どれだけコストがかかるか。コストに見合った効果が得られるかが明確ではない。
○馬場委員
効果はいつまで続くのか。
○加藤委員

ある程度は持続するが、永久ではない。壁や床の全面に塗布するもののほか、スプレータイプのものも発売されているが、スプレー缶のようなものは確認していない。スプレー式はどこまで有効かわからない。費用対効果もどうか。

○中峰教育長

以前、市で試験的に使用した製品を塗布する場合、一教室あたり６０万円ほどかかるようだ。

○加藤委員

業者のボランティアとして市の施設で試す場合もある。旭川医大では屋内・屋外で使用したことがある。

○中峰教育長

第２回定例会でも光触媒について質問されている。その時はコロナウイルス対策としての質問だったが、今回はインフルエンザ対策としての質問である。学校の裁量として判断を委ねることにならないので教委として方針を検討したい。

○加藤委員

広く普及させていくためには、国が補助金を出すなどして事業を推進するべき。長期的に考えていかなければならない。

○五十嵐職務代理者

他の自治体で取り入れた実績はあるのか。

○加藤委員

老福施設などが多いが、学校で取り入れた例は聞いていない。化学物質ホルムアルデヒド対策として使用されている。

○五十嵐職務代理者

時期尚早なのではないか。今の段階では手を出しづらい。

○加藤委員

ＧＩＧＡスクール構想によって一人一台の端末を整備することになるが、現状で子どもに対するネットリテラシーについて教員が理解しているのか。ＬＩＮＥなどの使い方教えられているのか。後々問題になるのではないか。ＳＮＳやネットによるいじめなど、コミュニケーションツールとして使用するうえで適切な運用ができるのか。加害者にも被害者にもなり得る状況であり懸念している。正しい知識が必要になる。

○中峰教育長

スマホを使用している子は特に注意が必要になる。

○加藤委員

今後もこの流れは加速する。

○中峰教育長

日常的にどれくらいツールを使っているかの調査も実施しており、武山課長から概要をお話願いたい。

○武山課長

昨年の調査では中学生の８割が携帯を所持していた。ＳＮＳなどについて適切な指導ができるかどうか課題である。

○中峰教育長

保護者も意識してもらいたい。

○加藤委員

ここ１０年ほどで一気に進化している。

○中峰教育長

　ＧＩＧＡスクールの端末は年度内に納入予定。道内の自治体のうち７～８か所は早い段階で納入されそうである。家庭教育で使用するために貸し出す場合は、フィルタリングの予算についても検討する必要がある。

○加藤委員

　コロナの影響で国全体がＩＴ分野で遅れをとっていることが判明した。

当面する今後の日程について

（鴻野部長説明。）

午後５時０９分　会議の終了を宣した。

　この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署　名　者　中峰寿彰

会議録調整者　須藤友章